



＜竹内 みほ プロフィール＞
 ・S31・3・29 富山県新湊市生まれ
 ・S53・3 関西学院大学社会学部卒業
 ・野田市まちづくり連絡会会員
 ・野田市サイクリング協会理事
 ・花の会・野田副代表
 ・野田市スカイスポーツ振興会事務局
 ・好きなこと：卓球・茶道・散策

◆◆◆ 過去3年平均の全国ランキング ◆◆◆

歳出総額対比(%) カッコ内は1人当り(円)

農水費

野田	2.13	(5,658)	(合併により過去2年平均)
1 平戸	14.58	(92,486)	1 芦屋 0.04 (213)
2 士別	14.45	(100,831)	2 蕨 0.06 (183)
3 名護	14.23	(76,976)	3 浦安 0.07 (236)
4 平良	14.03	(69,084)	4 豊中 0.07 (225)
5 網走	13.87	(92,500)	5 戸田 0.08 (284)
6 小林	13.69	(56,556)	6 尼崎 0.09 (362)
7 江刺	13.47	(81,155)	7 狛江 0.11 (332)

商工費

野田	1.04	(2,774)	(合併により過去2年平均)
1 加茂	18.39	(75,921)	1 戸田 0.12 (425)
2 夕張	17.47	(218,847)	2 大東 0.22 (691)
3 米子	16.05	(63,158)	3 四条畷 0.24 (758)
4 岡谷	15.88	(66,812)	4 富士見 0.25 (686)
5 歌志内	14.64	(190,861)	5 国分寺 0.27 (887)
6 境港	13.99	(62,574)	6 香芝 0.28 (877)
7 高崎	13.89	(50,783)	7 大阪狭山 0.29 (867)

◆◆◆ 15年度野田市決算 ◆◆◆

総額(億円) 1人当り(円) カッコ内は総額対比(%) 歳入総額 428.23 歳出総額 415.19

議会費 3466 (1.3) 総務費 40,562 (14.9) 民生費 61,928 (22.8) 衛生費 27,92 (10.3) 労働費 754 (0.3) 農水費 4,956

=== 12月議会 本会議発言要旨 ===

今回は 市内の産業振興施策について何点かお伺いをいたします。

従来から地域産業の盛衰は自治体財政に大きく影響を及ぼしましたが 現下の地方自治体は財政難もあり なべて積極かつ投資的な政策展開に欠けているように思われます。義務的経費は大きく 経常的経費は年々増え財政の硬直化は深刻ですが 一方で地方分権や都市間競争が喧伝される時代にあつて まちに活力を与える産業・経済政策はどこの自治体にあつても格別に知恵を絞る要が有ると考えます。

まず 農業問題についてお伺いします。戦後の食糧難は歴史にも残る惨状でしたが この時代社会的にも食料自給率の向上は至上命題であつたと思ひます。関係者の大変なご苦勞で米の国内自給率が達成されましたが 余剰が出るに至るや稲作作付け減反を促す国の方策は 余りに短絡的で暴挙ではなかつたかと思ひます。それでいて現在は畜産物は無論のこと農水産物の輸入はとどまるところ無く 米は余りながらも食料自給率は40%を切ろうかという状況です。水田は他作物への転換が難しいと聞いております。農業の経営は過剰生産や天候災害の影響を受けやすくあげく減反休耕では生産意欲は著しく削

がれることでしょう。

これが耕作放棄地の発生と増加につながり景観上も近隣農地への悪影響も深刻です。本市の水田面積は1500haを超えていますが耕作放棄地は17.3%の272haに達しており 火災の心配や産廃の集積地になることが懸念されます。現況に対しどのようなお考えがあるのかお伺いします。本市は枝豆出荷日本一を誇り、醸造の街として有名ですが更に市民の暮らしに密着し商工業とも広く関連をもつ市特有の産品づくりに周知を絞ってはとを考えます。耕作放棄地が農産物の特産品づくりに生かせないものか考えますが如何でしょうか。

次に商業振興についてお伺いします。商店街では空き店舗が年毎に増えています。耕作放棄地同様空き店舗率も近いものがあるかと思ひ調べてみましたが関係機関どこにも把握していないとの事でした。近隣市に聞いてみますと多いところでは20%を超えているそうで平均でも8%に達しているそうです。

この度の震災でも 灯りのともった商店街が被災者に明るい希望を持たせたようであり 何よりも物品、食料品が身近で供給されることは大いに助けられたことでしょう。